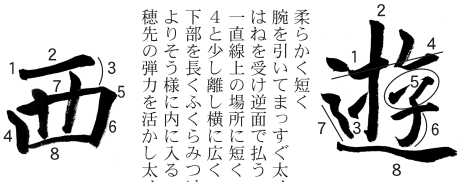
ポイント解説（担当：笹嶋健人）

1、やや下より太くゆったりと
2、1と角度と太さを変え払う
3、2との接点上側に
4、一直線上にまとめる
5、下ぞりに押す様に強く引く
6、高い位置から入り速度速く
終筆軽く払う
7、長さに注意し右を少し長く

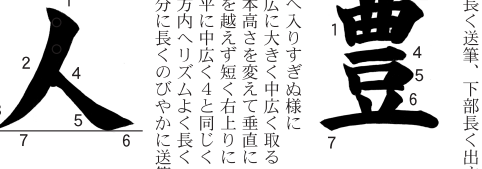


1、柔らかく短く
2、腕を引いてまっすぐ太く
3、はねを受け逆面で払う
4、一直線上の場所に短く
5、4と少し離し横に広く
6、下部を長くふくらみつけて
7、よりそう様に内に入る
8、穂先の弾力を活かし太く

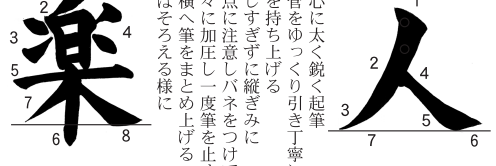
1、穂先強く突き弾力をつける
2、弾力そのままに右上りに
3、間を広く取る様に
4、起筆内へその下は真下に
5、2と平行に偏平に長く
6、強く折り返し内に長く入る
7、高さ変え幅を広く取る
8、全体支える様に山なりに

1、少し上から西と平行に引く
2、長さに留意し柔らかく
3、1と平行に左を長く張る
4、空きの空間見て短く1上に
5、ムは横広に小さくまとめる
6、倒しすぎぬ様に鋭く強く
7、下部より太く直線的に払う
8、広く空けて重心上に上げる

1、鋭く太く起筆し長く払う
2、1との接点見て右上りに
3、2と長さ等しく平行に
4、3の起筆下部より下に引く
5、太く起筆し筆管の角度変え
ずに太く送筆
6、中心に太く入り太さ変えず
に長く送筆、下部長く出す



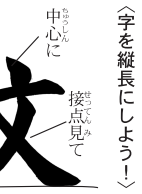
1、内へ入りすぎぬ様に
2、横広に大きく中広く取る
3、2本高さを変えて垂直に
4、曲を越えず短く右上りに
5、偏平に中広く4と同じく
6、両方内へリズムよく長く
7、十分に長くのびやかに送筆



1、中心に太く鋭く起筆
2、筆管をゆっくり引き丁寧に
筆を持ち上げる
3、倒しすぎずに縦ぎみに
4、接点に注意しバネをつけて
5、徐々に加圧し一度筆を止め
6、真横へ筆をまとめ上げる
7、下はそろえる様に

1、中心に長く払い出す
2、左右対称に縦長に大きく
3、リズム良く太く打つ
4、高さを変えて角度等しく
5、上部と近く長く強く引く
6、腕を引き垂直に長く
7、丁寧に筆を引いて
8、のびやかに太く払い出す

〈字を縦長にしよう！〉



「文学作品」

文学作品に触れることで、心が豊かになる。人生観や世界観が広がるからだ。

標準字体	許容される点
文	方向

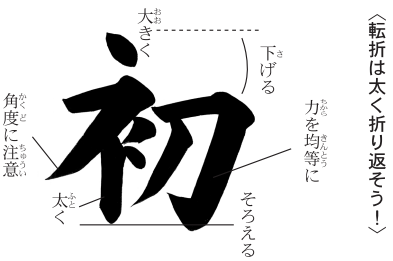
文 一 ナ 文

学 ⺍ ⺍ 宀 宀 学 学

作 ノ 亻 亻 作 作 作

品 丨 口 口 品 品 品 品

〈転折は太く折り返そう！〉



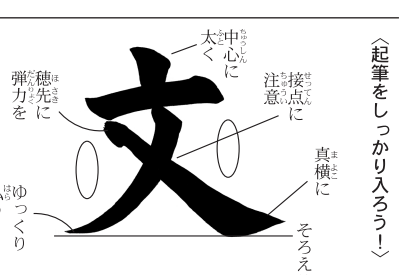
「初雪」

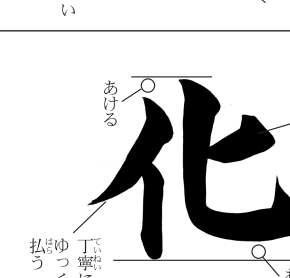
11月になると気温もグッと下がる。水たまりにも氷になって、あぶないね。今年はどんな冬になるのかな？

初 一 ラ ネ ネ 初 初

雪 一 二 三 雨 雨 雨 雪 雪

〈起筆をしっかり入ろう！〉





「文化」

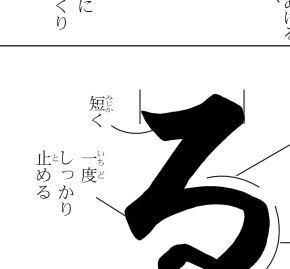
日本の文化は世界から見てもすばらしい。このすばらしい文化を大切にしていきたいね。

標準字体	許容される点
化	方向

文 一 ナ 文

化 ノ 亻 亻 化

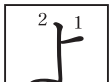
〈中心を意識しよう！〉



「よる」

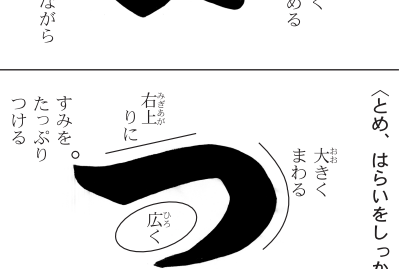
夜の静けさは心が落ち着く。月明りが優しく照らしてくれるね。

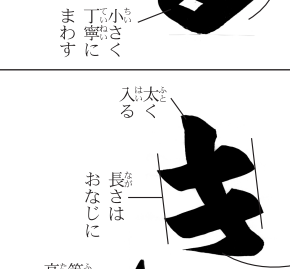
筆順



筆順

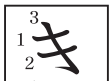
〈とめ、はらいをしっかりと！〉





「つき」

満月になるとお月様も大きく見える。近くに見えるけど、宇宙船では3日もかかるんだよ。

筆順

筆順